

卒業演奏会

3年音楽科 岩間 大地

加納高校創立110周年という節目の年に、この由緒ある演奏会に出演できることに誇りに思い、出演しました。

僕たち三年生は、12人というとても少ない人数の中で、互いに切磋琢磨しながら学校生活を送ってきました。この人数では、室内楽や合奏などが思うようにできず、さまざまな苦労もありました。また、3年間同じクラスで過ごしてきたことで、楽しいことだけでなく、いろいろな思いを抱いたこともあったと思います。しかし、10年後に高校時代を振り返ったとき、きっと「この12人でよかった」と思える、そんな仲間に出会えたと感じています。

加納高校の音楽科では、美術科との交流や海外研修など、ここでしかできない経験を数多くさせていただきました。また、音楽科の先生方は、個性の強い僕たちの「できない部分」ではなく、「良い部分」を見つけ、伸ばしてくださいました。そのほかにも、充実した専攻の先生方や、恵まれたレッスン環境など、ここでは語り尽くせないほど多くの魅力があります。心から、この学校で学ぶことができてよかったと感じています。

音楽という不安定な進路に送り出してくれた両親や家族、僕たちの音楽に真剣に向きあってくれた専攻の先生方、どんな時も親身に向き合ってくれた音楽科の先生、卒業演奏会を聴きに来てくださったすべての方、その他たくさんの人のおかげで今の僕たちがいます。

本番では、僕たちを応援して下さったすべての方へ感謝の気持ちを込めて、自分にしかできない音楽を皆様に届けることができたと感じています。この演奏会で得た経験を糧に、これからも音楽の道を邁進していきます。

